

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ



愛せしよ みんなの人生を豊かにするために

2021~2022 年度
国際ロータリーのテーマ

◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階

◆会 長 / 小林 秋生 ◆副 会 長 / 加藤 輝男
◆幹 事 / 朝倉 俊次 ◆アグ広報・情報委員長 / 両川 博之

NO. 1535 令和3年11月30日



◆点鐘	小林 秋生 会長
◆SAA	両川 博之 委員長
◆ソング	手に手つないで

【会長挨拶】小林 秋生 会長

先日、望月町の東信運転免許センターへ行って、新しい免許証を戴いて参りました。(区分はゴールドで 3 ヶ年有効)安全運転に徹して慎重に過して行きたいと思っています。今回も高齢者講習を受講(2.5 時間)する事は前回と同じですが、制度と内容が少し異っていました。認知症検査も適性検査も実地講習も以前は、教習所で全部括めて出来たのですが、今回は先ず、認知症検査と適性検査がセンターで受けて、これをクリアすると合格証を持って教習所へ受講の予約をして、眼の検査と実地運転講習を受けて合格証となります。再度センターへ行き、写真撮影と再度眼のチェック(視力検査のみ)を済ませて初めて、免許皆伝と相成ります。

最近、高齢者による交通事故が大変多く発生しております。先日も、バス停の四名へブレーキなしのワゴン車が突込み、二人が死亡する痛ましい事故がありました。運転者は 71 才との事ですが、ノーブレーキの操作ミスが原因のようです。

今回、私も受講で、いろいろと勉強をさせて戴きましたが、行政での着目点は、認知症による適性と、眼力(視力、動体視力、夜間視力など)の検査に重点が置かれていました。一緒に受けた人の中で医者診断が必要になった人も居りました。この時点で、ギリギリクリアになって、免許された場合、それから一年、二年と経年する内に安全な運転に支障を来たさないだろうか? 今、高齢者には、自主的に危険を感じて免許を返納する制度も報じられております。しかし、昨日まで車で動いていた人が、今日から、車が無いと、言う事になると生活が出来なくなる人もあると思います。

今、自動車の業界も、操作ミスを防止出来る機能とか、いざと言う時に自動ブレーキが作動するとか、ハンドル操作が自動で修正されるとか、いろいろな機能が研究されております。高度なセンサーと AI によるものが多いのですが、高額なコストがかかるので、高級車に装着されるものが多いのも現実です。

そこで、考え見たのですが、車のグレードは軽自動車並みで、この安全・安心な機能が全部備わった車が出来ないだろうか? 出来れば、そんなに高価でなく中級車並みくらいになると思います。この車を高齢安全車として区分し、免許も安全車限定免許にすれば一考の価値があるかなと考えた次第であります。免許証更新にたり、そんな事を考えながら、いろいろな勉強をさせて戴きました。ありがとうございました。

【幹事報告】加藤 輝男 副会長

1. 例会変更

千曲川RC	12月 8日(水)	定刻受付なし
	12月15日(水)	定刻受付なし
	12月29日(水)	定刻受付なし

2. 「ダム・ゼットイ」国連支援募金事務局より礼状

3. 週報

上田東、東御RC

【本日の配布物】

週報 1534 号、ガバナー一月信 12 月号

◆出席報告 小山 等 委員長

会員数	20名	出席義務者	20名	免除者	0名
本日		出席	14名		
		事前 MU	2名	70.00%	
前々回(11/9)		MU	1名	85.00%	

◆ラッキー賞

No.4 両川 博之 君

◆ニコBOX 橋詰 希望 委員

小林 秋生君	本日は例会終了後、来期の役員・理事の候補者を選出する指名委員会が開かれます。ご協力をよろしくお願いいたします。	望月 完君	11/22 結婚記念日に大変綺麗なお花が届きました。ありがとうございました。いい夫婦でいられるようにしたいです。
加藤 輝男君	次期会長ですが何とか頑張ります。日本シリーズ、ヤクルトが優勝しましたが、来期は望月会員応援の阪神タイガースに是非優勝します様に願っています。	両川 博之君	ラッキー賞ありがとうございます。先々週例会休み、人間ドックやっけてまいりました。
		鴨下 直哉君	ゆうちゃんの募金をお願い致します。
小池平一郎君	11/26に7人目の孫が生まれました。4男の所で2人目で男の子です。会いに行こうと思ったのですが病院は面会不可との事で残念！	橋詰 希望君	心臓移植が必要なゆうちゃんの費用を皆様ご協力お願い致します。
		青松 英和君	ロータリー財団のご協力をお願い致します。

【本日のプログラム】「ロータリー財団月間によせて」 R財団・米山記念奨学会委員会 青松英和 委員長

ロータリークラブの暦の上では毎年11月はロータリー財団月間です。

クラブの様々な活動を財政的に支えるために財団があります。

最も有名なのがこの地球上からポリオウイルスを撲滅するために活動しているクラブを財政的に支えていることです。その他にも地区補助金、グローバル補助金、ロータリー平和センターといった形でクラブの様々な活動を資金面でバックアップしています。

もちろんその浄財はロータリークラブの会員によって集められています。

毎年皆様をお願いしている年次寄付のほかに様々な寄付形態があります。

ここでその全容をお話しするには時間が全くたりません。

詳しくロータリー財団の内容をお知りになりたい方は、ロータリアン必携の

これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」の資料の中の「ロータリー財団」の項目をしっかりと読んでみてください。

以上、報告を終わります。

次週のプログラム : 12月 7日 : クラブ協議会「年次総会」

次々週のプログラム: 12月 14日 : 「クリスマス夜間例会」